

継続性・発展性のある技術継承戦略の考え方と、暗黙知としての実験技術の形式知化、その情報の評価・解析手法、伝え方・考え方・コミュニケーションスキルといった、実践のための具体的なポイントを解説します。

暗黙知としての開発技術・実験の考え方とその可視化、技術継承の方法

～組織と技術の自律的成長を生む技術継承の戦略と方法～

講 師： ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹 氏

大手化学メーカー、電器メーカー、化学系ベンチャーでの研究開発とマネジメントに従事。現在はベンチャーから上場企業まで様々な業種の顧問や技術コンサルタントとして、研究開発、製造における課題解決から、戦略策定、人事研修などの人材育成などを行なう（講師HP：<http://analysis.ikaduchi.com>）。また、学会等での招待講演や国プロにおけるキャリア形成プログラムの講師なども行っている。

●日 程 2025年7月16日（水）10:30～16:30

●受講料 36,300円（税込）

※本講座は早期申込割引の対象外です

＜プログラム＞

1. 【イントロダクション】

- 1) 開発・実験技術とは
- 2) 生産技術との違い
- 3) 技術継承とは

2. 【開発・実験技術継承の目的】

- 1) なぜ継承するのか
- 2) ダークスポット
- 3) 開発・実験と継承

3. 【なぜ継承が難しいか】

- 1) 本質的課題
- 2) 現実的な現場の課題
- 3) 情報化の難しさ
- 4) 大いなる誤解の存在

4. 【開発・実験技術継承における課題】

- 1) 伝える側の課題
- 2) 受け手の不在
- 3) 責任と原因の帰属
- 4) 継承における心理的課題
- 5) 現場担当者任せの課題
- 6) 関係者の納得

5. 【技術継承と暗黙知】

- 1) 継承継承とは
- 2) ナレッジと暗黙知
- 3) 暗黙知の構成要素
- 4) 暗黙知と形式知

6. 【継承プロセスとは】

- 1) 技術の顕在化
- 2) 顕在化のポイント
- 3) 重要な顕在化の方法
- 4) ヒアリングとインタビュー
- 5) 4Q
- 6) 質問のポイント
- 7) フロー化
- 8) トップダウン＆ボトムアップ
- 9) フローの深掘り

7. 【開発・実験技術継承のキーポイント】

- 1) 経験知
- 2) 形式知化の向こう側
- 3) 手順の後ろにあるもの
- 4) 技術力の継承
- 5) ノウハウ・技術以外に伝えるべきこと
- 6) 継承すべき見えない技術
- 7) 継承することの本質
- 8) ソフト要素
- 9) 継承の内的プロセス
- 10) スタートとゴール
- 11) 伝えること
- 12) 人を動かす伝え方
- 13) 熟練者とは何か
- 14) 継承≠コピー
- 15) 言葉の重要性
- 16) トップの旗振り
- 17) バランス
- 18) 失敗の価値
- 19) 特異点の重要性
- 20) 二つの成長
- 21) 伝承者、被伝承者の「うれしさ」

8. 【開発・実験技術継承の準備】

- 1) 意識統一
- 2) 棚卸
- 3) 技選
- 4) 選別
- 5) 人選

9. 【開発・実験技術の可視化と継承】

- 1) 開発・実験技術とは何か
- 2) 上位概念化
- 3) 開発・実験技術（スキル）の分類と解説
- 4) 流儀
- 5) 動作の継承
- 6) 思考の継承
- 7) プロセスへのアプローチ
- 8) フェーズの可視化
- 9) 実験パラメーターの考え方
- 10) 実験操作の可視化
- 11) 実験プロセスの比較
- 12) 裁量バランス

10. 【伝えるべき実験の考え方の基本】

- 1) 必須の実験検討項目
- 2) 演習

11. 【技術継承の方法（伝え方と考え方）】

- 1) 継承のパターン
- 2) 継承技術のブレークダウン
- 3) 認知バイアスの罠
- 4) まず知る
- 5) OJTが機能しない理由
- 6) 正しいOJT
- 7) 良い訓練とは
- 8) ソクラテス式
- 9) 以心伝心
- 10) 「動」で伝える
- 11) 徒弟制度

12. 【継承のためのコミュニケーション】

- 1) コミュニケーションとは
- 2) 心（マインド）のリンク
- 3) 伝えたいこと、聞きたいこと

13. 【育成と継承】

- 1) 時代・社会の変化
- 2) 伝える側の教育
- 3) 受け手の事前教育
- 4) メンタリティー
- 5) アフターフォロー
- 6) オーバーラップ

14. 【補足ポイント】

- 1) 記録と継承
- 2) 開発、モノづくりへのフィードバック
- 3) 継承だけで終わらない
- 4) 非属人化の日常化

15. 【補足ポイント】

- 1) 継承の基本フロー
- 2) 継承プロセスの改善

16. 質疑

＜講演概要＞

技術継承というとどうしても生産技術にスポットが当たるがちですが、研究開発、特に開発・実験技術の継承も必須なもの一つです。開発・実験技術は生産技術のように定まった固定的なものではなく、ケースバイケースでその時その時に考えていくものもあるので、マニュアル化も難しいと言えます。そのため、これまで開発・実験技術の継承についてはほとんど触れられてこず、個人の力量に任されていました。しかし、スピードと効率化、人材の流動化が激しい現代においては、開発・実験技術の継承も生産技術と同様に継承を推進することが必要不可欠です。

本講演では、特に開発・実験技術にフォーカスして、技術継承の本質の理解と共に、発展的成長へと繋がる技術継承戦略の考え方、そして、その戦略を実現するための具体的な方法（伝える内容、伝え方、技術の情報化）について、暗黙知と形式知という考え方や行動心理学の考え方を取り入れて解説します。

〈お申込要項〉

下記に必要事項をご記入の上、FAX にてお申込みください (※は必須です)

FAX
03-6261-7924

申込講座	2025/7/16	暗黙知としての開発技術・実験の考え方とその可視化、技術継承の方法		
会社名*				
所在地*	〒 (請求書等の送付先)			
参加者①	氏名*	TEL*		
	所属*	FAX		
	Email*	役職		
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する	<input type="checkbox"/> 登録しない	(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)
参加者②	氏名*	TEL*		
	所属*	FAX		
	Email*	役職		
	会員登録	<input type="checkbox"/> 登録する	<input type="checkbox"/> 登録しない	(登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します)
支払方法*	<input type="checkbox"/> 銀行振込 (紙請求書) <input type="checkbox"/> 銀行振込 (PDF請求書) <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
支払予定日*	<input type="checkbox"/> [] 月 [] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する			
備考*				

※【個人情報の取扱いについて】 ご記入された個人情報については、当社規定の「個人情報の取扱い」に基づき、適切に管理・運用いたします（詳細 <https://www.tech-d.jp/info/privacy>）。

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先 : entry@tech-d.jp メール本文に<①【申込講座】②【会社名】③【所在地】④【氏名】⑤【所属】⑥【Email】⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/ の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

〈注意〉

- ① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

〈期日〉

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払ください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

〈方法〉

- ①銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
②クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店 (909)
口座番号	(普) 0973522
名義	株式会社テックデザイン

主催 申込・問合先	名 称	株式会社テックデザイン (http://www.tech-d.jp/)		
	住 所	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	電 話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp (申込) / info@tech-d.jp (問合)		